



議会だより

でいすかす

133号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2026.8.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください

目次

委員会だより … ①～②ページ 一般質問 … ③～⑤ページ 補正予算審査、その他 … ⑥ページ

委員会だより



視察報告会を開催しました

総務・教育委員会

大分県日出町の図書館については、視察先の選定理由と目的、本市の図書館がアーニスに移転した際の静寂性や蔵書数の確保、イベント時の駐車場不足への懸念、駐車場のバリアフリーなどに対する意見をいただきました。

他に、学習室や子ども向けスペースの充実についても関心が寄せられました。

福岡県飯塚市のキャリア教育については、視察先で特に注目したポイント、高等学校との連携、探求学習の時間の確保や不得手な児童へのフォロー、特別な配慮が必要な児童に対する対応、実際にこの教育を受けた生徒の中学校卒業後の成長ぶりなどへの質問があったほか、視察先の取り組みを本市でも是非取り入れるべきとの意見も頂きました。

今後、本委員会では、皆さまからいただいた意見を行政と共有していくとともに、政策提言に生かしてまいります。

(戸井)

こどもの声を条例づくりへ

生活・福祉委員会

本委員会では、こどもや若者の声が届くまちの実現を目指し、(仮称)登別市こどもの権利条例の制定に向けた調査・検討を進めています。条例づくりの過程では、こどもたちをはじめ、多くの皆さんの意見を伺うことを大切にしています。

新年度に入り、人権擁護委員との意見交換を行ったほか、高校生や専門学生などが中心となり、市民の皆さんとワーキンググループ方式による意見交換を実施しました。

また、市内の小・中学生を対象にアンケートを行い、こどもたちが大切だと考えることや、安心して相談できる相手などについて、多くの声を寄せていただいています。

現在、市内の高校生や専門学生にもアンケート



を実施中であるほか、議会の専門的サポーター制度を活用し、専門家との意見交換も予定しています。

さまざまな声を条例案の検討に生かし、こどもたちが安心して自分らしく育つことができるまちを目指します。

(宮武)

物価高騰対策と

市内循環型経済

観光・経済委員会

鬼まちクーポン発行事業では、物価高騰対策の一環として、登別市にお住まいの全ての方へ給付型商品券をお届けしました。

また、鬼まちペイ発行事業については、赤鬼券・青鬼券の配分や低所得者への対応、発行枚数や購入上限などについて、議会で活発な議論が行われました。

こうした多様な意見を踏まえ、事業を運営する実行委員会では、議会終了後直ちに会議を開催し、1人10枚まで購入できる仕組みとしました。

その結果、高額商品の購入にも対応可能となり、利用できる事業所の拡大につながりました。

一次販売後は、さまざまな事情により未購入分が生じたため二次販売を実施し、多くの皆さまにご購入いただき、完売となりました。



事業者からは、利用開始日の朝から多くの市民が来店されたことや、物価高騰の影響を受ける中で売上増加につながったこと、青鬼券の利用により売上向上に結び付いたことを伺いました。

(工藤)

議会・議員活動のさらなる見える化を目指して

広聴・公開委員会

本委員会は、市民との意見交換の場である議会フォーラムをはじめとする広聴活動と議会だよりでいすかすや市議会ウェブサイト、SNSなどを活用した広報活動を担う委員会です。

議会だよりでいすかすでは、市民に分かりやすく親しみやすい紙面づくりに努めています。

また、議会フォーラムに向けては、開催時期や会場、テーマ設定、意見交換の方法を検討し、市民参加の機会を広げる取り組みを進めています。

さらに、議会サポーターとの意見交換では、広報紙の読みやすさやウェブサイトの構成、SNS活用など、多くの提言をいただけてきました。

これらの声は、議会の情報発信をより良くする重要な示唆として受け止め、改善に向けた協議を進めています。



現在は、前委員会からの引継ぎに加え、議長から諮問された議会・議員活動のさらなる見える化を重要課題とし、これまでの取り組みの深化と新たな工夫を重ね、委員が役割を分担しながら改善に取り組んでいきます。

(成田)

より良い議会運営を目指して

議会運営委員会

本委員会では、市民に開かれた分かりやすい議会の実現に向け、議会運営の改善と議会改革について継続的に協議を進めています。

令和8年第1回定例会終了後には、一般質問や委員会審査の運営を振り返り、質問と答弁の簡潔化・論点の明確化、発言時間の適正化、休憩の取り方、議員間や会派間の事前調整、予算・決算委員会の運営方法、モニター資料や投影資料の改善審査日程の在り方など、多岐にわたる課題について検証を行いました。

また、議会基本条例に基づく議員自己評価制度を活用し、議会活動を客観的に点検・検証するとともに、より質の高い政策議論と円滑な議会運営につながる改善策について協議を重ねています。今後も、市民の皆さまに信頼される議会を目指し、透明性の向上と議会機能の充実に努めるとともに、議長から諮問された事項についても、その趣旨を十分に踏まえながら慎重に協議を進め、より良い議会運営につなげてまいります。



(今野)

令和8年第2回定例会 一般質問

[令和8年6月15日(月)～6月18日(木)]



▲定例会最終日の集合写真

議員12名が市政を問う

現在の給食センターは
延命化が必要ではないか
若木 康夫



若木議員の
一般質問
中継はこちら

質 給食センターは本市単独で
設置することになった。
今後8年程度は現施設を維持
しなくてはならないと考えるが、
従来どおりの手法で維持できる
のか。

答 施設において不具合が生じ
た際はその都度対応し、小破修
繕により安全性を確保しながら
施設の延命化を図っていきたく
と考えている。

質 新設にかじを切った場合、
施設の提供食数は2千食以内の
規模と考えてよろしいか。

答 仮に給食センターを新設す
る場合、提供食数は2千食を上
限として仮定している。

ただし、児童生徒数の推移に
伴い、変動する可能性があるた
め、今後の児童生徒数の推計を
継続的に確認しながら施設規模
の設定を検討していきたい。

学校給食の
栄養素バランスは
金澤 則男



金澤議員の
一般質問
中継はこちら

質 栄養管理システムで基準を
満たしているとのことだが、実
際に児童が食べきれない場合、
摂取基準を満たしていないの
ではないか。

答 栄養管理システムで計算さ
れた給食については、提供した
給食を全て喫食した場合に摂取
基準を満たすものであり、食べ
残した場合は、満たされないこ
とになると認識している。

栄養管理の考えについては、
1日単位で基準値を充足させる
のではなく日々の積み重ねであ
り、1カ月という一定期間を通
じて平均的に必要な栄養基準を
充足するよう調整している。

これまでも栄養教諭が中心と
なり、月単位で詳細な栄養計算
を行うことで、期間を通じた栄
養量の確保に努めており、今後
も適正な栄養管理とバランスの
取れた献立作成に努めていく。

全小中学校に
防犯カメラの設置を
足立 知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 市内小中学校の防犯カメラ
設置の現状は。

答 児童生徒の安全確保や不審
者の侵入防止といった防犯対策
の一環として、一部の学校にお
いて、児童生徒玄関などに設置
し、状況の監視や不審者対策と
して活用している。

質 防犯カメラの有効性につい
ては、どのように認識してい
るのか。

答 不審者の侵入を防ぐ抑止力
となるだけではなく、万が一、
事件や事故が発生した際には、
客観的な映像が証拠として残る
など、有効な手段であると認識
している。

質 有効性を認識しているので
あれば、全小中学校に設置する
べきでは。

答 効果的な設置箇所や手法、
財政負担など、精査すべき課題
が多岐にわたるが、設置に向け、
早急に検討を進めていく。

市内小中学校の将来の
適正規模・適正配置は

佐々木 久美子



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら

質 今後の予測は。

答 第2期の令和8年度から令和17年度までで鷺別小学校、西陵中学校、幌別西小学校は統合を想定し、小学校5校、中学校3校になると想定している。

また、第3期の令和18年度から令和37年度までは、小学校4校、中学校1校の5校になると想定している。

質 第3期では中学校を1校と想定しているとのことだが、その理由は。

答 令和37年度には、生徒数が300人台まで減少することが想定されるためである。

質 通学時間や通学距離、また、理想的な30人学級を考えた場合に1校ではなく、複数校にすべきだと考えるが、見解は。

答 第2期の後半に児童生徒の推計を行い、適正配置の内容を検討していく。

下水道事業の
持続可能性は

小栗 義朗



小栗議員の
一般質問
中継はこちら

質 本市の下水道管は、短期間に集中的に整備されており、今後かなりの量の管路が短期間のうちに耐用年数を迎えることが予想されるが、管路はどのように更新されるのか。

答 ストックマネジメント計画では、下水道管内部の劣化状況をカメラ調査などによって把握し、その結果を踏まえて対策の優先順位を定めており、中長期的な方針のもと、事業を進めることとしている。

質 国は、地域特性に応じて汚水処理手法の柔軟な見直しを示しているが、本市は、将来的な持続可能性を見据えて、今後どのように検討していくのか。

答 本市では、集合処理として人口が密集する地域で公共下水道を整備し、供用を開始しており、現時点においては、合併処理浄化槽による個別処理への転換を検討する考えはない。

地域全体で
キャリア教育の推進を

戸井 肇



戸井議員の
一般質問
中継はこちら

質 教育委員会の考えるキャリア教育の本質的理念は。

答 特定の職業を選択させるばかりではなく、自らの意志で未来を切り開くための生きる力を育むことである。

具体的にはコミュニケーション能力や課題解決能力といった社会生活の基盤となる資質能力の育成を目指している。

質 地域課題解決型学習への考え方と、町内会や少年団などの社会教育団体との連携は。

答 すでに具体的な提案型学習を行っている学校もある。

地域団体とは、キャリア教育に重点をおいた連携は行っていない。

キャリア教育の視点は教育委員会だけでなく、地域団体や市役所のあらゆる部署で共有されるべきであり、教育委員会がイニシアチブを発揮し、知見の共有を図ることを提案しました。

住宅と福祉をつなぐ
居住支援協議会設置を

今野 幹大



今野議員の
一般質問
中継はこちら

高齢者や住宅確保要配慮者が安心して暮らし続けられる地域づくりを進めるため、住宅部門と福祉部門、不動産関係団体、地域の支援団体などが連携する居住支援協議会の設置について市の考えを質しました。

質 住宅の確保に配慮が必要なる方のために、居住支援協議会を設置する考えは。

答 高齢者をはじめ、住宅の確保に配慮が必要な方への支援には住宅と福祉の連携が重要であり、住まいの確保だけでなく、入居後の見守りや生活相談、福祉サービスへの接続など、住まいと暮らしを一体的に支える視点が必要と考える。

現時点で設置は決定していないものの、国や北海道、先進自治体の取り組みを踏まえ、居住支援協議会の設置を含めた住宅と福祉が連携した支援の在り方について調査研究していく。

現庁舎跡地の活用策は
いつ決まるのか

辻 弘之



辻議員の
一般質問
中継はこちら

質 新庁舎の総事業費と借金返済などを含めた本市の実質負担額はいくらか。

また、維持管理に係る将来負担を軽減するため、基金を設立するべきではないか。

答 総事業費は約83億8千万円だが、利子の償還額などを含めた本市の実質的な負担額は約50億8千万円を見込む。

庁舎に限らず、公共施設全体の老朽化対策に使える新たな基金の造成を検討する。

質 現庁舎の解体費が除却推進プランから説明なく削除されているが、本市が責任を持って除却するのか。

答 行政が責任を持って除却するという考え方に変わりはない。

民間活用をめどが立たない場合は、本市直営での解体も検討し、令和8年度中には跡地の方向性を示すプランを策定する。

避難所のスフィア基準への
体制強化の考えは
天神林 美彦



天神林議員の
一般質問
中継はこちら

質 スフィア基準は自治体に全
面適用を求めるものではないも
の、避難所の生活環境を国際
的な最低基準へ近づける努力が
必要とされている。

また、同基準自体に法的拘束
力はないが、日本のガイドラ
イン（内閣府、避難所運営ガイド
ライン）と重なる部分について
は、実質的に自治体の責務とな
ることから、本市としてスフィ
ア基準への体制強化に向けた考
えについて確認したい。

答 令和6年12月に内閣府の避
難生活における良好な生活環境
の確保に向けた取組指針が改定
され、スフィア基準を満たすよ
う、市町村において避難所や物
資拠点に必要な備品などを確保
することが示された。

本市においてもこの内容を受
け、指針を目標としたプライバ
シー保護や備品などを計画的に
整備していく。

市職員の人材確保の
方向性は
伊藤 健太



伊藤議員の
一般質問
中継はこちら

質 令和9年度に向けた採用戦
略の方向性は。

答 本市の魅力をより効果的に
発信することが重要であること
から、新たに職員採用パンフレ
ットを作成するほか、人材の多
様化に対応する取り組みとして、
転職や育児・介護などを理由に
退職した方を対象に、カムバッ
ク採用を実施する予定である。

質 長期休暇を防ぐための組織
的な支援体制は。

答 全ての職員を対象にストレ
スチェックを年1回実施してお
り、高ストレス状態と判定され
た職員に対し、産業医面談の勧
奨を行っている。

メンタルヘルスに起因する病
気休暇を取得した職員には、所
属長や人事担当部局などによる
面談を行い、職務分担の見直し
やサポート体制について協議し、
当該職員が早期に復帰できるよ
う努めている。

持続可能な下水道経営を
維持するためには
工藤 俱二雄



工藤議員の
一般質問
中継はこちら

質 ストックマネジメント計画
に基づき設備更新を進めている
が、現在、耐用年数を超過して
いる処理場設備はどの程度ある
のか。また、耐用年数超過の現
状をどのように認識しているの
か。

答 処理場設備3千7基のうち、
約41%が標準耐用年数を超過し
ているが、ストックマネジメント
計画では標準耐用年数のみで
更新時期を判断するのではなく、
設備の状態を継続的に確認しな
がら使用可能な設備を有効活用
することとしている。

各種点検や必要な修繕を実施
するとともに、設備の状態に応
じて計画的な更新を進めている
ことから、標準耐用年数を超過
していても現時点で大きな問題
はないと認識している。

このほか、下水道施設の維持
管理に係る質疑を行いました。

道の駅整備事業の
実現の可能性は
岩田 恵



岩田議員の
一般質問
中継はこちら

質 全市観光の考えを伺う。

答 全市観光については、市内
回遊促進や観光消費の拡大、地
域経済への波及効果の創出など、
さまざまな観点から本市の活性
化に寄与する重要な取り組みで
あると認識している。

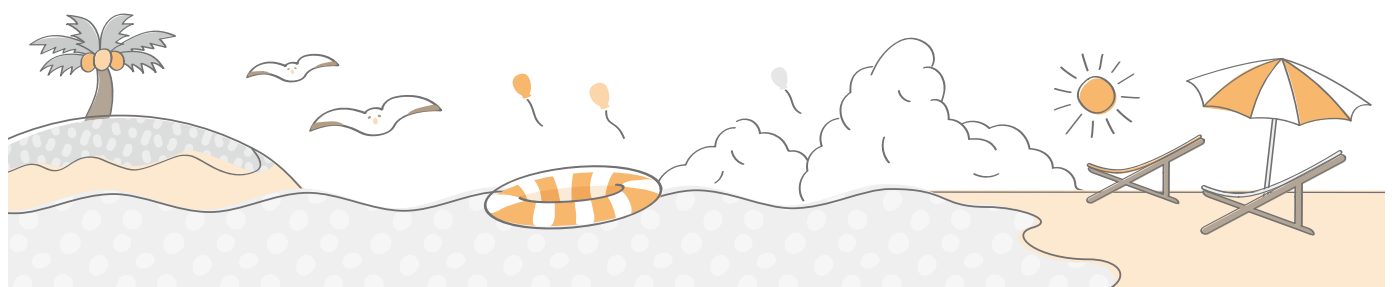
質 市長の全市観光の考えとヌ
ブルを道の駅にする考えを伺う。

答 これまで商工会議所、他の
団体が登別温泉を主軸に行って
いた登別観光をもう少し違った
形で全市的に展開していこうと
検討しているところである。

今後、内閣府が登別市に来る
ため、政策推進交付金を活用す
るといった戦略も考えている。

道の駅に関しては、正式な認
定登録ではなく、小さな道の駅
などといった近い位置づけで庁
内においてすぐに検討したい。

市長から、道の駅について、
結果的には善処したいとの答弁
がありました。



予算・決算委員会（令和8年度補正予算審査）〔令和8年6月24日（水）〕

本審査では、学校給食センター共同整備事業の合意解消に伴う負担金の追加額約187万円について、多くの質疑が交わされました。本事業の解消は、子どもたちへの給食の安定的提供や広域連携の信頼性に関わる重大な事案です。市側からは、事業費高騰が理由であり、改めて検証は行わない、との答弁がありました。

しかし、議会としては事実関係の整理や将来の政策形成の基盤づくりの観点から、一定の総括が不可欠であると判断しました。

そのため、本議案は原案どおり可決したものの、行政に対して2項目の取り組みを求める付帯決議を採択しました。

1点目は、協議過程や合意解消の判断背景、費用負担の根拠などを整理した市長総括と関連資料を含む報告書の提出です。

2点目は、今年度中に示される学校給食事業の方針を、今回の事案から得た課題を踏まえて策定することです。

議会は、こどもファーストの視点と市民生活の安定を最優先に、提出された総括および資料を基に委員会でも追跡調査を行い、市民への説明責任を果たしてまいります。

令和8年第3回定例会は
9月11日（金）から開催される予定です。

議会中継をしてみませんか？

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。

また、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。



令和8年第2回定例会における
議案の賛否状況

第2回定例会で上程された議案はすべて可決されました。

国会・政府・北海道に6件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。

第2回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

地方財政の充実・強化に関する意見書

北海道教育委員会「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直し、全ての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元など教育予算拡充と豊かな学びを求める意見書

性的指向・性自認に関する差別の解消を求める意見書

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書

全国市議会議長会被表彰者の紹介

【一般表彰（議員在任15年以上）】

工 藤 俱二雄 議員

佐々木 久美子 議員

杉 尾 直 樹 議員

【感謝状（令和7年度理事）】

千 田 文 孝 議長

